

広報 にいかっぷ

2012 2013

12・1

No 563

新冠町ホームページ

<http://www.niikappu.jp>

Eメール

info@niikappu.jp



しゅつダンス

～Ni・SPO ダンス&ヨガ教室より～

12月22日、レ・コード館で新冠町体育協会(Ni・SPO)主催による「ダンス&ヨガ教室 inにいかっぷ」が行われました。

ダンスの指導を行ったのは、日高管内で活動しているプロダンサーの「TOMOE」さんで、この日は、「ヨガ教室」「キッツダンス教室」「ジャズダンス教室」が行われ、子どもから年配者まで楽しく汗を流していました。

謹んで新春のお慶びを申し上げます

新冠町長 小竹 國昭



町民のみなさん、新年明けましておめでとうござい
ます。

みなさんにおかれましては、心新たに輝かしい平成
25年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げますと
もに、目ごろより町行政に対するあたたかいご支援と
ご協力に対し、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年のわが国を振り返りますと、長引く景気
低迷に加え、東日本大震災からの復旧・復興、原発と
エネルギー問題、TPPへの対応や領土問題など、
待ったなしに解決すべき多くの問題を抱える中、政治
に対する国民の期待や信頼が著しく低下した年だった
ように思われます。

このような中、7月・8月に行われたロンドンオリ
ンピックにおいて、日本選手団の活躍は目覚ましいもの
があり、日本のメダル獲得数は過去最高を記録するな
ど、日本国中が明るい話題につつまれました。

当町においては、黒毛和牛の生産・経営の核となる
「和牛センター」が4月に稼働したほか、企業誘致事業
として推進しております「日高食肉センター」も、
平成26年春の操業に向け建設工事が着手されたのをは
じめ、東日本大震災を教訓として、防災・減災のため
に必要な避難計画や施設・設備の整備、快適な住環境や
地球温暖化対策を個人・家庭が率先して取り組むこと
を促進するための、住宅リフォームや新エネルギー導
入助成事業など、多くの町民の理解と協力を頂きなが
ら事業が遂行されました。

一方まちの産業に目を転じますと、軽種馬の売れ行
きは少しずつ回復傾向にあります。生産コストに見
合った販売額となっていない状態が続いており、漁業
にいたっては、総漁獲高に占める割合が大きい秋サケ
において、不漁だった昨年よりも更に落ち込み、漁獲
量・漁獲高ともに過去5年平均の5割にも満たない状
態となっているなど、第一次産業は大変厳しい状況に
あります。

しかし、黒毛和種素牛・肥育牛の販売額が初めて六億
円を突破したほか、みついし牛枝肉共励会において五
嶋日出さんが出品した黒毛和牛の最優秀賞受賞や基幹
作物であるピーマンの販売高が七年連続三億円を突破
また、競馬界においてはバカバカファーム生産の
デイープブリランテ号が、当町産駒としては18年振り
に日本ダービーを制覇するなど明るい話題も多くなり
ました。

本年におきましても、引き続き景気の低迷が懸念さ
れますが、産業振興やまちの活性化と、当町に暮らす
全ての人がキラリと光輝くまちを目指し、全力で取り
組んでまいりたいと考えておりますので、町民のみな
さんのご協力とご理解を賜りたいと思います。

結びに、町民のみなさんにとりまして、迎えられま
した新しい一年が最良の年でありますよう心から祈念
いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

議会

12月11日に招集された第4回定例町議会は、12月14日、全日程を終えて閉会しました。
今定例会では、小竹町長、杉本教育長の行政報告のほか、平成24年度の補正予算案等が審議
されました。その主な内容についてお知らせいたします。

●固定資産評価審査委員会委員の選任
12月23日をもって任期満了となる眞野康彦委員の後任に、引き続き同氏が選任同意されました。

●平成24年度一般会計

平成24年度新冠町一般会計予算は、既定の歳入歳出予算額に3972万8千円を追加し、総額を54億2454万1千円としました。

《歳出補正の主なもの》

生活路線バス維持費補助金	938万円
氷川生活センター用地購入費	417万円
乗馬施設移転計画経営分析調査業務委託料	263万円
住宅リフォーム助成金	700万円
学校管理用備品購入費	102万円

11月27日発生暴風被害

11月26日夜半から27日の午前中にかけて、発達した低気圧が北海道上空を通過した結果、日高地方では観測地点4か所で最大風速の観測記録を更新するなど、暴風による被害が各地で発生いたしました。

また、破損した屋根や倒木により電線が断線したことにより節婦地区400世帯、高江から新冠沢にかけて一部地域の250世帯で停電となり、住民の生活への影響も心配されましたが、高江から新冠沢にかけては8時20分、節婦地区も11時40分には完全復旧することができ深刻な事態に至ることはありませんでした。

また、破損した屋根や倒木により電線が断線したことにより節婦地区400世帯、高江から新冠沢にかけて一部地域の250世帯で停電となり、住民の生活への影響も心配されましたが、高江から新冠沢にかけては8時20分、節婦地区も11時40分には完全復旧することができ深刻な事態に至ることはありませんでした。

27日の午後には風も収まり被災状況を確認したところ、公共施設や民間施設を含めて被害が発生しておりますので暴風被害の状況について報告をいたします。

4%増のキロ当たり223円となり、販売額も1380万7661円増の1億5561万832円となったところとす。

《と菜部門》
そ菜関係の総販売額は、前年を274万9050円上回る4億7752万5442円となっております。

《軽種馬部門》
軽種馬生産であります。市場の取引販売実績では売却頭数は182頭で前年比10頭の減となりましたが、売却率においては17%増、売却額では993万円増の7億9129万5千円となりました。

《肉用牛部門》
肉用牛においては、主力の黒毛和牛の素牛販売において、売却頭数が前年より5頭少ない1036頭になったものの、売却単価が増加し、販売額は前年より2898万1千円多い4億4255万8千円となっております。

《と菜部門》

そ菜関係の総販売額は、前年を274万9050円上回る4億7752万5442円となっております。

基幹作目でありますピーマンは、作付農家が4戸増え、作付面積、収量ともに前年を上回りましたが、販売単価が前年並みの金額に下がったため、販売額は前年比1.6%減の3億6146万8958円となっております。

一頭平均価格では、前年を27万8千円上回り、434万8千円となりましたが、市場上場に係る検査経費やコンサイナー、種付け料など様々

まず、公共施設の建築物の被害ですが暴風による屋根破損や看板倒壊、車庫のシャッター破損、公営住宅の灯油タンク囲いの倒壊等の被害が25件、町道関係では倒木による交通障害発生が10件、崩土除去等3件となっており、これらの被害総額は概算で986万7千円となっております。

▲暴風で破損した本町多目的交流センターの屋根

また、民間施設では日高軽種馬育成公社の厩舎8棟で一部破損、職員住宅屋根半壊1戸、敷地内電柱倒壊で被害総額は概算で200万7千円。農業関係ではビニールハウスが4か所10棟、農業用施設4棟が破損し被害総額は概算で314万3千円。漁業関係では漁船2隻が一部破損し被害総額は概算で30万円となっております。

肥育牛販売においては、肥育頭数の増頭が進み前年対比41頭増の143頭、販売額では3325万6千円多い1億1621万5千円となりました。

《水産部門》
本年11月までの魚種別漁獲状況は、カレイ、シシャモなどの漁獲高が大幅に減少し、主力の秋サケにおいても海水温が高かったことにより漁獲量が前年の59.8%の270.2トンで、販売額は44.1%減の1億3737万1千円であります。

また、増殖事業を強化しております。また、増殖事業を強化しております。また、増殖事業を強化しております。

内科医師の採用

国保診療所の診療体制は、内科医師2名、外科医師1名の計3名の常勤医師により、内科・小児科・整形

平成24年度一次産業の概況

新冠町農協及びひだか漁協取り扱いの販売実績によりご報告申し上げます。

《農産部門》

水稲は全道的に作柄が良く、本年の作柄は「やや良」という結果でありましたが、本町では良品質となりましたものの、収量は前年を若干下回り、反収は前年比約0.9%減の316キ口となりましたが、販売単価は12.

▲町有牧野で肥育されている黒毛和牛